

平成24年12月27日

## 原料費調整制度に基づく平成25年2月検針分のガス料金について (群馬地区)

東京ガス株式会社  
広報部

東京ガス株式会社は、「原料費調整制度」に基づき、平成25年2月検針分の単位料金を、平成25年1月検針分に比べ1m<sup>3</sup> (43.14MJ) につき0.63円 (消費税込) 下方に調整させていただきます。

今回の調整は、平成24年9月～平成24年11月の平均原料価格に基づくものです。

これにより、1ヵ月に33m<sup>3</sup>のガスをお使いになる標準家庭で平成25年1月検針分と比較して、20円 (消費税込) ガス料金が下がります。

平成25年2月検針分に適用するガス料金については、当社ホームページ等であらかじめお知らせいたします。

### 1. 一般契約料金

各月のご使用量に応じてA～Cの各料金が適用されます。

1ヵ月の ご使用量	(消費税込)		
	料金表A 0～26m <sup>3</sup>	料金表B 27～522m <sup>3</sup>	料金表C 523m <sup>3</sup> ～
基本料金 (円/月)	724.50	1,232.28	7,151.76
調整単位料金 (円/m <sup>3</sup> )	124.19	104.66	93.32
調整単位料金 1月 (円/m <sup>3</sup> )	124.82	105.29	93.95

### 2. 標準家庭における影響

1ヵ月のご使用量 33m <sup>3</sup> (43.14MJ/m <sup>3</sup> )	(消費税込)		
	平成25年 1月	平成25年 2月	増減
適用料金(円/月)	4,706	4,686	▲ 20

\* 標準家庭ガス料金は、ご家庭1件の1ヵ月あたりの平均使用量(平成18年度～平成22年度の5ヵ年平均)に基づき算定しています。

### 3. 原料価格の変動

(円/t)			
	平成24年8月～平成24年10月 の平均 (1月検針分)	平成24年9月～平成24年11月 の平均 (2月検針分)	対前期 差額
平均原料価格(a)	18,400	17,530	▲ 870
LNG	68,160	64,920	▲ 3,240
基準平均原料価格(b)	17,890		
差額(a-b)	500	▲ 300	▲ 800

\* LNG価格は貿易統計値。

\* 平均原料価格と基準平均原料価格との差額(a-b)は100円未満切捨て。

### 4. 単位料金調整額の算定方法

<原料価格の変動による単位料金調整額の算定>

■ 平均原料価格の算定

$$\begin{aligned} \text{LNG平均原料価格(貿易統計値)} &= \boxed{64,920} \times 0.27^* \\ &= \boxed{17,528.40} \\ &\quad \downarrow (100円未満四捨五入) \\ &= \boxed{17,530} \text{ 円/t} \end{aligned}$$

\* 0.27は液化天然ガス(LNG)の混入比率

■ 原料価格変動額の算定

$$\begin{aligned} \boxed{17,530} \text{ 円/t} - \boxed{17,890} \text{ 円/t} &= \boxed{\Delta 360} \text{ 円/t} \\ &\quad \downarrow (100円未満切捨て) \\ &= \boxed{\Delta 300} \text{ 円/t} \end{aligned}$$

■ 単位料金調整額(m<sup>3</sup>当たり調整額)の算定

$$\begin{aligned} \text{単位料金調整額} &= \boxed{\Delta 300} \text{ 円} / 100 \text{円} \times 0.0798^* \\ &= \boxed{\Delta 0.24} \text{ 円} \quad (\text{小数点第3位切上げ}) \end{aligned}$$

\* 変動額100円につき単位料金を0.0798(0.076×1.05)円調整します

<標準家庭における影響>

(消費税込)			
1ヵ月のご使用量 33m <sup>3</sup> (43.14MJ/m <sup>3</sup> )	平成25年 1月	平成25年 2月	増減
適用料金(円/月)	4,706	4,686	▲ 20

\* 標準家庭料金の計算方法

群馬地区

本体料金(税込み) = 基本料金(1,232.28円)

$$+ \text{調整単位料金}(\boxed{104.90} \text{円}) + \boxed{\Delta 0.24} \text{ (円)} \times 33\text{m}^3$$

料金改定時の基準単位料金↑

↑単位料金調整額(税込)

・小数点以下切捨て

[参考]

原料費調整制度の概要

- 為替レートや原油価格の変動等による原料価格の変動に応じて、毎月ガス料金の単位料金(ガス1m<sup>3</sup>当たりの単価)を調整する制度です。
- 「基準平均原料価格(17,890円/t)」と「平均原料価格(料金適用月の5ヵ月前から3ヵ月前の3ヵ月平均におけるLNGの輸入価格より算定)」との差額に基づいて、原料価格の変動100円につき、ガス1m<sup>3</sup>当たり0.0798円(0.076円に1.05(消費税)を乗じた値)単位料金を調整いたします。
- 原料価格の変動については、LNGの貿易統計実績によります。
- 料金の大幅な上昇を避けるため、「平均原料価格」が28,620円(上限値)を超えた場合には、「平均原料価格」は28,620円としてガス料金の調整を行います。